

上島町消防だより

こんなところから火災が!?

空気が乾燥した日が続く時期には、ほんの少しの火源から火災に至る危険があります。

今月号では、小さな火源から出火し、住宅火災となった事例を紹介します。

トランキング現象

差し込みプラグを長時間コンセントに差し込んだままの状態で使用すると、湿気やほこりなどが溜まり、プラグの両極間で火花放電が繰り返されます。絶縁状態が悪くなり、プラグ両極間に電気が流れて発熱し、発火します。これを「トランキング現象」といいます。

東京消防庁では、平成18年中に電気設備による火災が約1200件あり、その内トランキング現象による火災が84件でした。上島町ではまだ事例はありませんが、全国的に増えてきているようです。

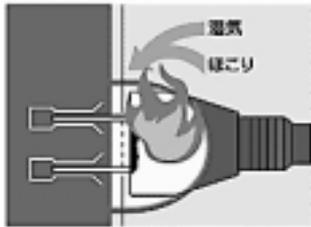
特異火災として電話機を掃除

した際に電話機のモジュラープラグの端子に洗浄剤が付着し、トランキングが発生して出火した事例もあります。

※通常の電圧で起こるため、ブレーカーが作動して防ぐことは出来ません。

【安全対策】

- ① プラグ及びコードが異常に熱くなっている時は使用をやめてプラグを取り替える。
- ② 大掃除などの機会に清掃やチェックを習慣付ける。
- ③ プラグの掃除の際は乾燥した布で拭き取り、しっかりと奥まで差し込む。



トランキング現象

弓削小3年生 消防庁舎見学 地域の消防・防災力を確認しました

2月13日、弓削小学校3年生25名が社会科「くらしをまもる」の授業として、消防庁舎の見学に訪れました。

2階 地域交流センター見学



救急車内見学



見学中、児童から「防火服は何秒で着るんですか?」との質問があり、実際に目の前で防火服を着てみせると「すぐ早い!」と驚きの声を上げていました。また、消防ホースを延ばしたり、空気呼吸器の着装など多くの消防用品の使い方などに興味を示していました。

これからも、町の消防・防災力について、関心を持って頂きたいと思っています。

救助資機材の説明



防火服と空気呼吸器の着装



携帯電話からの119番通報について

現在、上島町内で携帯電話から119番通報をすると上島町消防本部につながります。しかし、携帯電話は電波の状況によって、他の消防本部につながる場合があります。

他の消防本部につながったならば、まず『愛媛県上島町』と伝えてください。

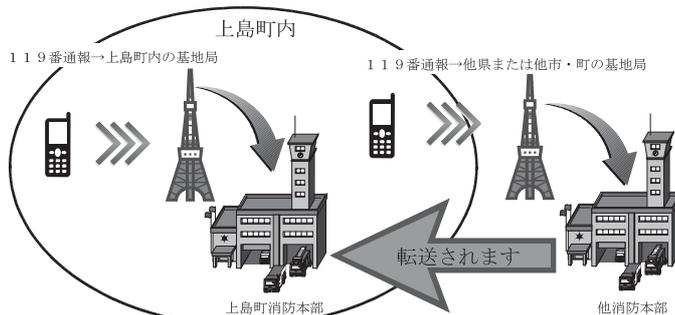
今治や尾道の消防本部からは上島町消防本部に転送されます。他の消防本部につながった場合も、慌てて電話を切らず、通信員の指示に従ってください。

平成20年出動件数

	火災	救急
平成20年(2月)	1	28
平成19年(2月)	0	34
昨 年 比	+1	-6
20 年 累 計	1	58

平成20年2月29日現在

119番通報転送イメージ図



火災と救急は119番

※携帯電話からでもつながりますが、電波の状況によって、他の消防本部につながる場合もあります。

消防本部 77-4118(代)



農業講座

しまなみ農業だより トマトの露地栽培について

トマトは、ナス科の1年生草本で、南アメリカのアンデス高地が原産といわれ光と温度格差と乾燥を好む野菜です。日本では生食が中心ですがイタリア料理など加熱する料理にも利用が増えています。生活習慣病を予防するといわれるリコピンやビタミンCを多く含むトマトは栄養価の高い野菜のひとつです。最近は大玉だけでなく中玉、ミニや黄色いトマトなど品種も増えてきました。現在、ハウス栽培用に作られた品種の苗が広く出回っているため雨の多い露地では栽培が難しくしています。露地専用品種（サターン、ホーム桃太郎など）や中玉、ミニは実が裂けやすいですが露地でも栽培ができます。少し栽培の難しいトマトについて栽培のポイントを解説します。

1 栽培のポイント

- ◎ 肥料を多くやると樹の勢いが旺盛になり実の付きが悪くなる。
- ◎ 病害虫の被害が発生しやすい。
- ◎ 開花から収穫までの期間が長い。

2 栽培管理のポイント

(1) 施肥は控えめに

施肥は4月上旬までに10㎡当たり堆肥、苦土石灰を各1000g、有機肥料を中心に10㎡当たり200gの順に土と混和しておく（石灰と肥料の同時施用はしない）。トマトは低温には強い方ですが露地では早くても4月下旬頃植えつけます。苗は1段の花が開花した苗が理想です。うね幅120cm、株間50cmの間隔に苗を浅植えし、必ず支柱で支える。うねにシルバーマルチやシルバーテープを張るとウイルス病（アブラムシ）の予防ができます。

表1 トマト露地栽培の作型

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大玉トマト				△	■	■	■	■		
中玉・ミニトマト				△	■	■	■	■	■	

△苗の植え付 ■ 収穫

（石灰と肥料の同時施用はしない）。トマトは低温には強い方ですが露地では早くても4月下旬頃植えつけます。苗は1段の花が開花した苗が理想です。うね幅120cm、株間50cmの間隔に苗を浅植えし、必ず支柱で支える。うねにシルバーマルチやシルバーテープを張るとウイルス病（アブラムシ）の予防ができます。

(2) 定植後管理

① 1段果実を確実に着果させ、植え付け後は、しばらく水やりを控える。

トマトは樹と果実をバランスよく生育させることが重要です。1段果をしっかりと着果させることで生育のバランスが良くなります。1段果房の開花は気温の低い時期は受粉が出にくいので花房を振動させて受粉を促します。開花時に着果促進剤のトマトーン100倍液を成長点に掛からないように花房にスプレーすると着果しやすくなります。6月以降は自然に受粉し始めますが、植え付け後は余分な肥料の吸収を抑えるため1段果が500円玉大の頃まで、しおれない限り、水やりは我慢します。

② 追肥は4段果房が開花した頃から行う。

トマトは実を太らせながら生長させるため、4段花房の開花時期に肥料を補います。以下の図を参考に成長点の伸び方で肥料の過不足が判断できるので、栄養が適正なら肥料（化成肥料でも可）を10㎡当たり50g、株の近くに施肥します。栄養過剰は施肥、水を控え、栄養不足なら早めに追肥を行いましょ。収穫は花が咲いて40日～50日ほどで収穫できます。一つの花房には3～4個着果させます（多ければ早めに摘み取ります）。脇芽は早めに全て除きます。

(3) 生育障害

生育障害で多く見られるものは、若い時期から尻の部分が黒褐色にくぼんで落果する症状が見られます。石灰が不足すると発生します。また、肥料をやりすぎると石灰の吸収が抑制されて発生します。石灰の施用と適正な施肥管理、水やりが重要ですが、花が咲いた時点で障害果実は決まります。

図 草勢判断の目安 生長点から20cmまでの所で判断する。



栄養過剰

葉が水牛の角のように、内側に向かってぐるりと巻いているのは、草勢が強い証拠。葉面は凹凸ができ、葉はカールする。

栄養適正

茎の太さが1～1.2cm、葉はお皿を伏せた程度の曲がり具合。葉色が濃く、毛もよく伸び、みずみずしく感じる。

栄養不足

葉柄が細くて節間が間伸びし、葉がバンザイするように、上へ向かってY字形についている。葉色はあせ、葉が硬化して上巻きぎみ。